

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

アンケート回収率13/17

事業所名:なでしこ

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|---|---|--------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 指導訓練室以外に学習室、休憩室の他に個室がある。 | はい:13 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:0 遊び、勉強、おやつなどの各スペースが分け | |
| | 2 職員の適切な配置 | 職員加配をとり、常勤職員、パート職員合わせて常時4人は勤務している。 | はい:9 いいえ:0 どちらともいえない:1 わからない:3 音楽療法の先生もいらっしゃるので、音楽を通しての活動も充実していると思います。 | 職員加配や資格等について保護者にもわかりやすく提示していく。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | 白板やマグネットプレートを利用し、構造化に努めている。 | はい:11 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:2 | |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 午前中などの子供の不在時を中心に掃除や遊具の消毒、部屋の壁面構成を行っている。 | はい:12 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:1 | |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 打ち合わせ時に問題点や不備などを確認して改善を図っている。 | | |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 今のところは実施できていない。 | | |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 他の施設の見学を実施している。 | | |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 6ヶ月毎にアセスメントの実施と電話や来所による相談、ケース会議を通して課題について確認し、個別支援計画の作成を行っている。 | はい:13 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:0 子供の様子を見ながら支援計画が作成してある。 | |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 学習面と生活面に分け、保護者や本人の意見を聞きながら立案している。学習面では、個別活動を重視し、生活面では集団活動を重視している。 | よりよい成長のために力になっていただきたい。 支援内容について丁寧に説明していただき、わからない点があってもすぐに答えてくださるので助かっています。 | |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 具体的な支援方法及び期間を計画に記載している。 | | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|--------------|--------|--|---|------------------------------------|--|
| 適切な支援の提供(続き) | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 職員会議や支援日誌を通して支援内容や支援方法を全職員が把握できるようにする。問題点などがあれば、打ち合わせ時にその都度確認していく。 | はい:12 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:1 | |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 各プログラムの担当職員を決め、職員会議で内容の確認や決定を行ったうえで、実施している。 | はい:12 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:1 | |
| | 6 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 夏休みはプールや外出、行事などを実施し、長時間利用でマンネリ化しやすい中で工夫を行っている。また、月ごとに季節に合った外出や行事などを実施している。 | | |
| | 7 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 月ごとに運動や音楽療法、創作活動、自主課題などの療育プログラムを日替わりで予定を立て、実施している。 | | |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 基本的には14時からの打ち合わせ時に一日の支援内容と方法の確認を当日勤務の職員で行っている。 | | |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 日誌に特記事項や問題点などを記入し、打ち合わせ時に口頭での説明・確認も行う。 | | |
| | 10 | 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 毎日の実施内容と様子をケース記録に記入し、特記があればすぐに情報を共有できるように日誌にも記入している。検証・検討が必要な事項については打ち合わせ時に随時行っている。 | | |
| | 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 6ヶ月のモニタリングに合わせて保護者に来所してもらい、面接を実施している。また、日々の様子を面接や電話、ラインなどでやり取りし、支援の方向性を確認している。 | | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|----------|--------|--|--|--|--|
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | | | |
| | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | | |
| | 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 小学校や特別支援学校とは情報の共有を行っている。法人内に認定こども園を併設しているので、連携を行いやすいが、他の保育園や認定こども園、幼稚園等とは出来ていないので今後の行っていきたい。 | | |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | 今のところは利用児童年齢が低く、取り組んでいない。 | | |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 児童発達支援センターの見学を実施。 | | |
| | 7 | 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 実施できていない。 | はい:5 いいえ:1 どちらともいえない:0 わからない:7 特に他の施設等との交流を強く望んでいません。子供が通学している小学校での交流で十分です。 | 他の施設等との交流については、保護者の意見も聞きながら今後検討していきたい。 |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | 実施できていない。 | | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|---------------|--------|--|---|---|--|
| 保護者への説明責・連携支援 | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 契約時に文章で説明している。また、その都度口頭やライン、お知らせ文章で伝えている。 | はい:13 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:0 | |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 6ヶ月に1回保護者に来所してもらい、支援計画を元に支援内容や児童の様子等を説明し、保護者の意見や感想、希望等を確認する。それを踏まえて計画を作成し、再度保護者に説明している。 | はい:13 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:0 | |
| | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 保護者より、相談があった場合はアドバイスを行っている。また、職員側が気になることが合った場合も話をしている。 | はい:9 いいえ:2 どちらともいえない:0 わからない:2 | 相談を待っているのではなく、施設側から積極的に発信していけるようにしていく。 |
| | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 連絡帳や電話、ラインで文章だけでなく画像を使って行っている。状況に応じてツールを使い分けている。 | はい:12 いいえ:1 どちらともいえない:0 わからない:2 服を着替えて帰宅した場合、なぜ汚れたか等の説明が無かった。い | 忘れることのないように徹底していきたい。 |
| | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 相談があった場合は、電話だけでなく直接顔を見て話すことようにしている。時間をかけて子育て支援のアドバイスを行っている。 | はい:12 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:1 面談を通して、今後の課題等の話し合いが | |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 今のところは実施できていない。 | はい:4 いいえ:4 どちらともいえない:2 わからない:4 | 父母会や保護者会などの活動については、今後保護者とも相談しながら検討していきたい。 |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 窓口職員を保護者に知らせている。直接言いにくい時には市の窓口を使うように電話番号を伝えている。 | はい:9 いいえ:0 どちらともいえない:1 わからない:3 そういう場面になったことがないのでわからない。 | 苦情に対する受け付けがしやすいような環境を作っていくようにする。 |
| | 8 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | マグネットプレートや貼り紙などを使って構造化を行っている。連絡帳やラインを使って日々の様子を伝えている。 | はい:13 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:0 連絡帳やラインで情報共有ができてい | |
| | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 行事に関しては翌月に利用予約確認時に予定表を渡している。 | はい:9 いいえ:0 どちらともいえない:1 わからない:3 | 行事や活動については、わかりやすく発信できるように徹底する。また、会報の発行等について検討していく。 |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 書類については扉の付いた棚に収納している。職員は守秘義務を徹底し、子供への声かけや支援の中でも個人情報については慎重に行っている。 | はい:11 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:2 | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|--|---|------------------------------------|--------------------|
| 非常時等の対応 | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 作成している。 | はい:13 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:0 | |
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 火災による避難訓練は実施しているが。地震などに関しては行っていないので今後実施していく。 | はい:13 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:0 | |
| | 3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 県や市の講習会に今後積極的に出席していきたい。 | | |
| | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 今のところは身体拘束が必要となるケースはないが、今後必要となった場合は慎重に対応していく。児童虐待の防止等に関する法律に沿って | | |
| | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 今のところは食物アレルギーの利用児童はない。 | | |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | 事故報告書、ヒヤリハット報告書は作成しているが事例集に出来ていないので、今後行っていき事業所内での徹底を図っていききたい。 | | |